

第4次「北九州市子ども読書プラン」に係る全事業の進捗状況【A:大変順調、 B:順調、 C:やや遅れ、 D:遅れ】

方針	主要施策	取組内容	事業計画(目標)	R3年度～R6年度 取組実績	進捗状況		次期プランに向けた意見 (本取組の継続・廃止、新規事業の有無など)
IV 地域（子育て関連施設・市民センターなど）における読書活動の推進	①幼稚園・保育所等における読み聞かせ、貸出の推進・支援	幼稚園・保育所等において、絵本の読み聞かせ、言葉の響きやリズム、新しい言葉や表現などに触れる取組み、図書の貸出などを推進する。	・幼稚園、保育所等での読み聞かせ等の実施	・各園において、幼稚園教諭や保育士だけでなく、ブックヘルパー、保護者、地域の読み聞かせグループ等の協力も得ながら読み聞かせを実施	B	・各園において、絵本の読み聞かせや貸出等が行われ、家庭での読み聞かせの機会や日常的に絵本と触れ合うきっかけづくりができた。	・幼児期に、絵本等に触れ合い親しむ環境づくりが、就学後の読書活動につながっていくことから、本取組は継続が望ましいと考える。
			・保育所、児童館、放課後児童クラブ、親子ふれあいルーム子育て関連施設への団体貸出・貸出文庫の利用、周知	・子育て関連施設への団体貸出文庫設置R3年度72団体、R4年度78団体、R5年度80団体、R6年度79団体）	B	・着実に配本を行っている。	・継続して取組を行う。
	②子育て関連施設、市民センター等での読み聞かせの実施	放課後児童クラブ、子ども食堂などの子育て関連施設、市民センター等子どもが集う様々な場所で、絵本の読み聞かせ、図書の貸出などを推進する。	・子育て関連施設での読み聞かせ等の実施(子どもの館、子育てふれあい交流プラザ、親子ふれあいルーム、放課後児童クラブ、児童館、こども文化会館)	・読み聞かせの実施(30回) ※放課後児童クラブ20箇所 ※児童館10箇所 「おはなしワールド」(読み聞かせ、紙芝居、手遊び、本の紹介等を行う)を概ね毎月開催してきた。 R3年度:延べ134人、令和4年度:延べ116人、令和5年度:延べ116人、令和6年度:延べ243人が参加。	B	・実施回数は年度によって増減があるが一定数の実績がある状況。 月ごとの参加人数は異なるが、子どもたちに本や紙芝居の楽しさを体感してもらう講座の目的が達成されている。	・令和7年度以降も放課後児童クラブ等活動支援等を活用し、読み聞かせ等を行える環境づくりを進めていく。 他の市民センター等で同様の講座を実施しており、当館は他と差別化を図り、さらに児童文化の普及を推し進めるため、今後は内容の充実を図り、年4回(春・夏・秋・冬)に実施回数を減らし継続していく。
			・市民センターでの読み聞かせ、子どもの読書活動に関する取組み、読書ボランティアの活動	・読み聞かせボランティアなど地域の協力を得ながら絵本等の読み聞かせを実施し、子どもが読書に親しめる環境づくりを進めた。 ・保護者・一般向けに対して読み聞かせに関する講座を開催した	B	・読み聞かせボランティアなど地域の協力を得ながら絵本等の読み聞かせを実施し、子どもが読書に親しめる環境づくりを進めた。 ・保護者・一般向けに対して読み聞かせに関する講座を開催した	今後市民センターの読み聞かせの実施が円滑に実施できるよう継続して取り組んでいく。
			・保育所、児童館、放課後児童クラブ親子ふれあいルーム等子育て関連施設への団体貸出・貸出文庫の利用・周知	・子育て関連施設への団体貸出文庫設置R3年度72団体、R4年度78団体、R5年度80団体、R6年度79団体）	B	・着実に配本を行っている。	・継続して取組を行う。
			・読み聞かせボランティアの情報提供、派遣の実施	・放課後児童クラブ、市民センター、放課後デイサービスに読み聞かせボランティアを派遣	B	放課後児童クラブ、市民センター、放課後デイサービスからの要請に応じ、子ども図書館、地区館より読み聞かせボランティアを派遣	子育て関連施設への周知を図るとともに、読み聞かせボランティアの情報提供及び派遣については、各学校等からの派遣要請に応えられるよう継続的に取り組んでいく。
			・子育て関連施設における児童向け図書の貸出し	当館に図書室を設けており、本(主に児童図書)の貸し出しを行っている。 令和4年度:206人、633冊、令和5年度:400人、1,081冊、令和6年度:317人、836冊の貸出しを行った。	B	こども文化会館図書及びひまわり文庫の図書貸出しを行っており、一定数の貸出しがある。中央図書館との連携も図れている。	今後多くの来館者に図書室を利用していただけるよう、中央図書館とも連携し、引き続き取り組んでいく。
	③子育て関連施設、市民センター等と市立図書館との連携強化	市立図書館の活用や読み聞かせボランティアなどの人材の情報共有、活用など、子育て関連施設、市民センター等と連携の強化を図る。	・ひまわり文庫の図書整備及び図書貸出の実施 ・子育て関連施設への団体貸出、貸出文庫の設置等	・ひまわり文庫取組み実績 設置箇所数R3年度128ヶ所、R4年度128ヶ所、R5年度128ヶ所、R6年度128ヶ所 貸出者数R3年度17, 623人、R4年度19, 771人、R5年度19, 345人、R6年度現在、実績集計中 貸出冊数R3年度39, 864冊、R4年度42, 455冊、R5年度40, 418冊、R6年度現在、実績集計中 ・子育て関連施設への団体貸出文庫設置R3年度72団体、R4年度78団体、R5年度80団体、R6年度79団体）	B	・着実に配本を行っている。	・継続して取組を行う。
			・おもちゃライブラリーでのおもちゃ・絵本の貸出し、おもちゃの研究、相談業務を実施	・市内4か所のおもちゃライブラリーにて、おもちゃ・絵本の貸出し、おもちゃの研究、相談業務を実施した。	B	コロナ禍の影響も収まり、来館者数及びおもちゃ・絵本貸出点数は増加している。 ・来館者数 R3 453人 → R4 948人 → R5 1,248人 ・おもちゃ・絵本貸出点数 R3 1,210点 → R4 2,133点 → R5 2,971点	・継続して取組を行う。
			・読み聞かせボランティアの情報提供 ・図書館司書及び読み聞かせボランティアの学校への派遣	・リーフレットを配布し、読み聞かせボランティアの派遣を周知 ・学校等からの要望に応じて、子ども図書館、各地区館から図書館司書及び読み聞かせボランティアを派遣	B	・リーフレット「学校向けサービスのご案内」を各学校に配布し、読み聞かせボランティアの派遣について周知した。 ・コロナ禍の影響も収まり派遣件数は増加している(R3年度12件、R4年度56件、R5年度90件、R6年度146件)。一方、読み聞かせボランティアバンク登録団体へ学校からの直接要請も多い。令和5年度より、不登校支援センター事業との連携で読み聞かせボランティアを派遣している。	子育て関連施設への周知を図るとともに、読み聞かせボランティアの情報提供及び派遣については、各学校等からの派遣要請に応えられるよう継続的に取り組んでいく。

	④文化施設等との相互協力	文学館、松本清張記念館、漫画ミュージアムなどの市内文化施設、PTA協議会、学校図書館協議会などの団体と相互に連携・協力し、子どもの読書活動推進を図る。	・関連施設等が実施する事業の情報交換、及び参加促進	・令和4年・令和5年度、文学館の企画展と関連する特設展示を実施し ・北九州市子ども読書の日のイベント参加（令和5年度・令和6年度:いのちのたび博物館、令和6年度:漫画ミュージアム）	B	文学館の夏の企画展とのコラボイベントとして夏休みに行った特設展示では、関連する本の貸出しが大幅に増え、図書館単独で行うよりも、展示の成果があがっている。また、図書館のイベントに文化施設に参加してもらうことで、読書以外にも図書館で楽しく過ごすという体験をすることができ、イベント時の来館者数は平常時の休日を大幅に上回っている。	利用者に、読書以外の目的でも図書館に来館してもらう、また楽しく過ごす時間をもってもらうため、他の文化施設等との連携は引き続き必要であるとする。
	⑤子どもが集まる商業・レジャー施設などとの協力の検討	商業施設、レジャー施設など、子どもが集まる様々な施設との相互協力について検討する。	・車の展示、スポーツ体験会等、読書の枠にとられない多様な分野とのコラボ	・令和5年・令和6年度 小倉北子どもまつりに絵本ブース出展 ・令和5年度 北九州市防災フェスタに絵本ブース出展 ・令和6年度 ㈱CHINTAIと共催でプロの声優によるお話し会を実施	A	不特定多数が訪れる大型イベントに絵本ブースを出展し、お話し会などに参加したことがない親子連れも対象に、絵本の読み聞かせや電子図書館の宣伝等を行った。図書館に来ないと経験できないことを伝えられる良い機会となっている。	普段は読書に興味がない人に、図書館や本の良さを伝えるために、図書館から大型イベント会場等に出向いて行くことは大切だと考える。次期プランにおいても、企業等の活動も含め、引き続き多様な分野と積極的に連携していく。